

第20回 日本近世の思想(4)

- | | | |
|------|--|----------------|
| 1 A | 第一次世界大戦後の日本に展開した、憲政擁護・普通選挙実施・婦人解放・労働運動などの民主主義を求める思想潮流を何というか。 | 大正デモクラシー |
| 2 A | 『中央公論』紙上に日本の国情にあわせた民主主義について論じ、憲政擁護と普通選挙の実施をうったえた政治学者は誰か。 | 吉野作造 |
| 3 A | 天皇主権を認めつつ、政治の実際面で「国家の基本的活動は政治上人民に在るべし」と説いた吉野作造の思想を何というか。 | 民本主義 |
| 4 B | 天皇主権説に対して独自の政治論を展開して、吉野作造とともに大正デモクラシーの指導者とみなされた政治学者は誰か。 | 美濃部達吉 |
| 5 B | 統治権は法人としての国家にあり、天皇はその執行機関であるとする美濃部達吉の学説を何というか。 | 天皇機関説 |
| 6 A | 近世社会成立の過程で、体制維持のための民衆の分断支配によってつくりだされた被差別部落の解放を求める運動を何というか。 | 部落解放運動 |
| 7 B | 1922(大正11)年、被差別部落の解放のために結成された被差別部落民自身の組織を何というか。 | 全国水平社 |
| 8 B | 「人間の世に熱あれ、人間に光あれ」ということばで結ばれた、全国水平社の結成に際して発せられた宣言を何というか。 | 全国水平社宣言 |
| 9 C | 自由民権運動のなかで民権尊重と男女平等を説き、のち自由党副総裁中島信行と恋愛結婚をし、横浜フェリス英和女学校の教師をつとめた婦人運動家は誰か。 | 岸田俊子 |
| 10 C | 自由民権運動に参加するとともに、岡山女子親睦会を結成して女性の地位向上に尽力し、朝鮮改革運動にも活躍した婦人運動家は誰か。 | 景山(福田)英子 |
| 11 C | キリスト教的人道主義の立場から男女平等と一夫一婦制の確立をうったえ、女性の地位向上と生活改善に尽力した婦人運動家は誰か。 | 矢島楯子 |
| 12 C | 1886(明治18)年、米国の運動にならって矢島楯子たちが中心となって設立された、禁酒・純潔・売春禁止を求める運動団体を何というか。 | 婦人矯風会 |
| 13 A | 市川房枝らとともに新婦人協会を設立し、婦人参政権などに取り組んだ大正・昭和期の代表的婦人運動家は誰か。 | 平塚らいてう |
| 14 A | 封建道徳に対する婦人自身の自覚と社会的地位の向上をうったえた、平塚らいてうたちを中心とする雑誌を何というか。 | 『青鞥』 |
| 15 A | 雑誌『青鞥』の巻頭に掲げられた、女性の地位を象徴することばは何か。 | 「元始、女性は太陽であった」 |
| 16 A | キリスト教社会主義者として伝道と労働運動に活躍するとともに、コミンテルンにも参加して日本共産党の結成を指導した人物は誰か。 | 片山潜 |
| 17 A | キリスト教徒としてアメリカで社会事業を学ぶいっぽう、人道的立場から社会主義にも傾倒し、日露戦争では非戦論を展開した社会主義者は誰か。 | 安部磯雄 |
| 18 B | キリスト教徒として足尾鉍毒事件や廃娼運動にかかわり、日本初の社会主義政党である社会民主党の設立に片山・安部らとともに尽力した社会主義者は誰か。 | 木下尚江 |
| 19 A | 中江兆民の影響を受けて自由民権運動に参加し、のち社会主義に転じて『平民新聞』によって軍国主義を批判したが、渡米後、無政府主義に傾き、大逆事件によって処刑された社会主義者は誰か。 | 幸徳秋水 |
| 20 B | 「愛国心を経とし、軍国主義を緯とする」日本の対外政策を批判した幸徳秋水の著書は何か。 | 『二十世紀之怪物帝国主義』 |
| 21 B | 資本主義の矛盾と社会主義の効果を論じた幸徳秋水の著書は何か。 | 『社会主義神髓』 |
| 22 A | 1910(明治36)年、明治天皇暗殺計画があったとして、無政府主義者たちが処刑された事件を何というか。 | 大逆事件 |
| 23 A | 日露戦争開戦に反対して『万朝報』を辞し、「平民社」によって非戦論を展開し、日本共産党結成にも参画したが、のち社会民主主義に転じた社会主義者は誰か。 | 堺利彦 |
| 24 B | 貧乏は制度の改革だけでは克服できないと考え、人道主義的・社会改良主義的思想を展開した昭和初期のマルクス主義経済学者は誰か。 | 河上肇 |

25 B	資本主義の根底に貧困をみて、その克服のための独自の道徳論を展開した河上肇の著書は何か。	『貧乏物語』
26 B	明治中期から大正期にかけて、西洋思想の受容のなかで、文学者や知識人が自己の内面の洞察によって求めようとした、主体的な自己意識のことを何というか。	近代的自我
27 B	18世紀末から19世紀初頭にかけておこったヨーロッパの運動を受けて、明治中期ごろに生まれた自我や個性を重んじようとする文学・芸術運動を何というか。	ロマン主義
28 A	自由民権運動に挫折したあと、島崎藤村らと『文学界』を創刊して文学的・内面的世界に自我の実現と自由を求めようとした人物は誰か。	北村透谷
29 A	自己の官能や感情を大胆に表現し、それによって人間性の解放をはばむ封建的道德に抵抗しようとした女流歌人は誰か。	与謝野晶子
30 C	日露戦争のさなかに『旅順口包囲軍のなかにある弟を歎きて』という歌のなかで、与謝野晶子が弟の無事を祈って歌った一節は何というか。	「君死にたまふこと勿れ」
31 B	19世紀末のフランスの文学潮流を受けて明治後半に生まれた、自己の内面を直視して赤裸々な人間の姿を描こうとする文学上の立場を何というか。	自然主義
32 A	北村透谷とともに『文学界』を創刊し、初期はロマン主義運動の潮流にあったが、のち『破戒』によって自然主義へと傾いていった文学者は誰か。	島崎藤村
33 B	貧困のなかから『一握の砂』や『悲しき玩具』などを発表するかたわら、自然主義のニヒリズムを批判し、社会主義へと傾斜していった詩人は誰か。	石川啄木
34 A	イギリス文学の研究家でありながら漢文の素養にもすぐれ、明治以降の近代化の動きを他律的なものとして批判し、内面の凝視によって自我の確立を説いた明治の文豪は誰か。	夏目漱石
35 B	明治維新は外からの開化であり自らの内から開化したのではないとして、日本文化の脆弱さを批判した夏目漱石の講演記録を何というか。	『現代日本の開化』
36 A	真に日本が近代国家として出発するためには、各人が自己の内に主体性をもつことを説いた夏目漱石の講演記録を何というか。	『私の個人主義』
37 A	主人公「先生」の心理の動きを通してエゴの問題を追求した漱石の作品は何か。	『こころ』
38 B	外国の圧力によってやむをえず開化させられた文明のあり方を漱石は何というか。	外発的開化
39 B	自国の内部から生じてきた自然発生的な文明の発展を漱石は何というか。	内発的開化
40 A	個人の尊重を道徳上の基本として、個人の自己発現は道徳上の目的であると考える立場を何というか。	個人主義
41 A	自己を見失って他者に迎合する立場を批判し、他者の個性や生き方を尊重しながら自己の本領を発揮しつつ、自己の生き方を貫こうとする漱石の個人主義を何というか。	自己本位
42 A	他者に迎合するばかりの人間とともに漱石が批判した、自己の利益のために人間関係の信頼を裏切る人間のあり方を何というか。	エゴイズム
43 A	小さな自我へのとらわれを離れて、大いなる自然にしたがおうとする漱石の晩年の境地を何というか。	則天去私
44 A	軍医という激務のかたわらに筆を執り、理想と現実とのはざままで苦悩する自我を描いた明治の文豪は誰か。	森鷗外
45 B	外国女性との恋愛を通して、時代のなかで苦悩する青年の自我の葛藤を描いた森鷗外の作品は何か。	『舞姫』
46 C	時代と社会のなかで、避けることのできない自己の運命は冷静に受けとめていかねばならないという、森鷗外の人生に対する態度を何というか。	諦念(レシグナチオン)
47 B	貧しい東北の農民の生活を凝視し、仏教徒として農民の生活の改善や技術指導に尽力するなかで、童話や詩を創作しつづけた人物は誰か。	宮沢賢治
48 C	民族や国境さらには生や死を越えて幸福を求めようとする人間の理想を、主人公ジョバンニの姿を通して描いた宮沢賢治の代表作は何か。	『銀河鉄道の夜』
49 C	個人の幸福は世界人類の幸福とむすびついていることをあらわした宮沢賢治のことばは何か。	「世界がぜんたい幸福にならない うちは個人の幸福はありえない」

50 C	カントやトルストイの影響を受け、真・善・美の探求を通して自己形成をはかることを提唱するとともに、人生論風な哲学書『三太郎の日記』によって多くの青年に影響をあたえた思想家は誰か。	阿部次郎
51 C	『出家とその弟子』や『愛と認識の出発』などによって、宗教的ヒューマニズムの立場から愛と信仰の問題を描いた劇作家は誰か。	倉田百三
52 B	トルストイの影響を受けて、人道主義的・理想主義的立場から人間の善意・個性などを楽天的かつ求道的に描いた文学集団を何というか。	白樺派
53 B	トルストイの影響を強く受け、理想主義的同人雑誌『白樺』を発行するとともに、「新しい村」を建設して自己の理想を実現しようとした文学者は誰か。	武者小路実篤
54 C	『白樺』の創刊に参加し、『或る女』『カインの末裔』など、社会主義的人道主義の立場から作品を発表した文学者は誰か。	有島武郎
55 B	『白樺』の創刊に参加し、『暗夜行路』によって自らの運命に苦悩する主人公の自我の遍歴を描いた文学者は誰か。	志賀直哉